

元議第116号

令和元年12月17日

大町市長 牛越 徹 様

大町市教育委員会教育長 荒井 今朝一 様

大町市議会議長 中牧 盛登

議会との意見交換会で出された意見・要望等について（依頼）

大町市議会では、議会基本条例の規定に基づき、市民との意見交換会を実施していますが、先月19日に大町市消防団幹部と意見交換会を開催したところ、議会に対し意見・要望等をいただきました。

いただいた意見・要望等について、政策調整委員会にて整理、集約した結果、別紙のとおり議会の意見を付して行政に送付することに決しましたので、行政の見解や対応等について、令和2年1月24日（金）までにご回答いただきますようお願い申し上げます。

なお、いただいた回答は議会だより、ホームページ及び今後の意見交換会の資料として活用する予定ですので予めご承知おきください。

出された意見・要望	市議会の意見	行政の見解・対応
1. 消防団活動報酬の増額	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における団員の安定的確保と、団員のやる気を高めるため、消防団出動手当の増額をお願いしたい。 	
2. 団員確保への協力	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団員確保については、消防団独自の活動を展開しているが限界がある。市も団とともに、具体的な確保策を考え、対応いただきたい。 	
3. 消防フェスタへの助成金増額	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の防災・危機意識発揚のために、消防フェスタを充実させ、盛り上げる必要がある。市においては、更なる財政支援をお願いしたい。 	
4. 出初式式典の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市が主催する式典ではあるが、団員の意向を優先尊重すべきである。そのため、式典の簡素化に向けた検討をお願いしたい。（例えば、挨拶者は県議と議長を隔年にするとか、挨拶する人数を減らすなど。） 	
5. 防災教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、全国各地で大型災害が連続発生している。市民の危機・防災意識を高めるため、現実に即した市民への防災教育の実施をお願いしたい。 ・小さな頃から行うことが重要であり、その防災への意識づけが、市民の防災意識を高め、防災減災対策の強化に繋がり、結果として家族や地域を災害から救うことにつながる。あらゆる機会での、有効な防災教育の実施をお願いしたい。 	
6. 防災マップの更新	<ul style="list-style-type: none"> ・市の作成した防災マップとマニュアルは、国の指針に沿ったものであるが、義務的対応に留まっている。想定を超えた大規模災害が現実的に発生している現状を鑑み、市民の指針とすべく、より実態に即した防災マップとマニュアルを早期に更新し、全戸に配布・周知いただきたい。 	